

## <定期総会 議案書>

2022年10月10日

### 議案1 活動報告

本来は昨年開催されるはずだった定期総会は、新型コロナウイルス感染症の影響で1年の延期を余儀なくされ、本年の開催となりました。同窓会活動そのものも、2020年春から身動きの取れない状況となっていました。したがって今回の活動報告は、前回の総会以降の4年分ではありますが、内容的にはやや寂しいものとなっています。

#### 1、会報の発行

会報は年1回発行を原則としており、コロナ蔓延下においても発行を継続できています。

最新の2022年度版は、印刷部数9,000部、発送部数・国内会員7,858部、特別会員151部、海外在住会員80部。他に、桜修館教職員、PTA役員、生徒に250部配布。桜修館同窓会役員用に50部。

通常はA4判カラー12ページですが、2019年度、2022年度は16ページとなりました。

会報の発行は同窓会活動の根幹ともいえるもので、編集・印刷・発送費が同窓会の年間の経費の8割前後を占めています。

#### 2、名簿の管理

<2022年6月30日現在の名簿状況>

会員総数14,350名(重複が判明し前回総会時より3名減)、特別会員(恩師)296名。

住所判明者 7,918名、(海外在住77名、会報受け取り拒否78名、特別会員との重複2名を含む)、死亡813名、住所不明5,619名。

住所判明特別会員(恩師)150名、死亡73名、住所不明73名。

名簿管理担当常務理事中心に各期の理事ほかの協力を得て、住所不明者の減少に務めており、数年前まで200名を超えていた新規不明者は、年間120名ほどとなっています。

ホームページのフォームメールへの住所変更の記入も増えています。

<個人情報取り扱いについて>

現在、同窓会が保有している「提供された個人情報」には、名簿データ以外に対象となるものはありません。このデータは2005年に発行された「同窓会名簿」を基本としており、「本人の同意があったもの」とみなしています。

##### (1) 同窓会会則【細則】

第10条 冊子としての名簿の発行は当面行わないが、会員の名簿は会報等の送付のため継続して刷新していく。同窓会で保有している氏名・卒業年組・住所・電話番号・メールアドレス等の個人データに関しては、原則として名簿の整備更新、同窓会報の発送、同窓会主催・公認イベントの案内のみに使用することとする。

##### (2) 情報受け渡しルール

- ・電子メール送付時にパスワードをつける
- ・メールおよび郵送時の文書に注意文を付記する

##### (3) 同窓会ホームページ掲載のプライバシーポリシー

同窓会は、提供された個人情報に関し、①本人の同意があった場合、②行政機関、司法機関から法的義務に基づく要請があった場合、を除いて第三者に開示することはありません。

### 3、「八雲が丘ホームカミングデー」

「八雲が丘ホームカミングデー」は、2015年に第1回を開催し、2019年に第5回を開催してから、コロナにより開催が中断しています。この企画は、都大附高同窓会と桜修館同窓会が共催し、桜修館中等教育学校の協力を得て、卒業から50年、25年を経過した同窓生に、八雲が丘に帰ってきてもらおうというもの。2014年までに卒業50年を経ていた同窓性向けには2017年と2019年に「特別版・八雲が丘ホームカミングデー」が開催されました。2020年、2021年と連続して開催できなかったため、第6回は本年11月に開催予定です。

### 4、八雲が丘学友会

旧制府立高等学校、都立大附属高等学校、桜修館中等教育学校の3校の同窓会相互の交流を図り、桜修館の発展に寄与するとともに、府立高、都大附高の知的財産を保護、継承することを目的として年4回程度会合を持っています。会議構成メンバーは各同窓会選出理事と、桜修館校長・副校長、桜修館 PTA の代表者。

### 5、記念祭への取り組み

桜修館の記念祭は、名称、回数を都大附高から継承しており、2019年に第71回が開催されましたが、2020年の第72回は中止、昨年（2021年）の第73回は在校性のみで限定的に行われました。今年は9月10日、11日に第74回が、入場制限つきながら通常に近い形で開催されました。同窓会は毎回校内に同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展し、旧制以来の古い資料や写真、年表などを展示するほか、校歌・記念祭歌・学生歌・寮歌の DVD を終日放映しています。また、旧制府立高 OB を含む同窓生で、校歌・寮歌などを歌うイベントを桜修館校内で開催していましたが、今年中止しました。

### 6、「八雲が丘賞」

2013年に創設された賞。桜修館の生徒たちによる優秀な部活動や課外活動に対して、都大附高同窓会が贈る賞です。これまでの9回は、「日本文化部・茶道部門」、「フィールド・ワーク部」、「写真部」、「美術部」、「科学部（旧生物部）」、「創作部」、「前期サッカー部」「前期女子バスケットボール部（奨励賞）」、「日本文化部かるた班」、「軽音楽部」が受賞しています。第7回までは全校生徒の前で贈賞していましたが、第8回と第9回は、コロナの影響で、放送室から校内放送の形で表彰式を行いました。

### 7、同窓会ホームページの管理

同窓会ホームページは、担当常務理事のもとで、拡充してきました。

2004年以降の会報バックナンバー、ホームカミングデー、八雲が丘賞、記念祭の記録などのほか、閉校記念式典、沼津寮閉寮式の様子を収録。また「都高時報」の1号から59号までと過去の記念祭プログラムの PDF。旧制府立高時代の13曲を含む校歌、学生歌、寮歌、記念祭歌など35曲紹介（うち11曲は You tube で視聴可能）など充実した内容となっています。

### 8、学生歌、記念祭歌、寮歌の継承、保存

4年前の総会でも報告しましたが、現音楽催事担当常務理事の監修により、旧制府立高校時代の歌から10曲、都立大附属高校時代の歌から5曲、および校歌の16曲について、伴奏譜を編曲・制作し、デジタル化して八雲が丘学友会が保有しています。

## 議案2 会費の納入状況と財政状況

(別紙・当日配布)

## 議案3 今後の活動計画

### <2022年度役員>

理事長・会報編集担当	宍戸 迪武(13期)
常務理事・事業担当	佐々木浩二(15期)
常務理事・音楽催事担当	佐藤 文行(17期)
常務理事・HP担当	嶋津 和行(26期)
常務理事・名簿管理担当	石川 恵子(35期)
常務理事・会計担当	田中 聡美(43期)
監事	簗原 利憲(11期)

### <基本的な方針>

- 一、同総会会員の同窓生としての活動を支援し会員相互の親睦を深める、
  - 一、旧制府立高校以来の伝統、精神を受け継ぎ、桜修館に引き継いでゆく、
  - 一、桜修館の発展、生徒の成長に寄与するなど、社会的に意義ある活動をする、
- 以上の三つをバランスよく展開していくことに変わりはありません。

これらの活動を支えるため、これまで継続してきた活動は維持しつつ、より多くの同窓生に何らかの形で同窓会活動に関わってもらおう仕組みを作りたいと思います。そのためにも健全な財政状況を確立、維持します。

また、桜修館同窓会との連携・協力関係を強化していきます。

### 1、「八雲が丘ホームカミングデー」

2年連続で開催できなかったため、今年の第6回「八雲が丘ホームカミングデー」は、第20期、21期、22期と、第45期、46期、47期、および桜修館第1期が対象です。開催日は11月27日(日)、会場は桜修館メインアリーナ(体育館)です。

詳細は、対象期の同窓生に直接案内するとともに、ホームページでもお知らせします。

### 2、会報の編集・発行

A4判12ページまたは16ページ・フルカラー、9000部程度の印刷部数を維持します。

<編集委員> 13期・宍戸迪武、14期・川田秀文、21期・根岸之夫、  
26期・嶋津和行、35期・石川恵子、43期・下村聡美

### 3、記念祭への参加、出展

これまで通り、同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展し、旧制府立以来の資料、写真の展示、年表掲出、終日DVD放映(「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌集」など)を行います。

コロナのため中止している校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌を歌うイベントも実施します。

### 4、名簿の整備

ホームカミングデーなどの機会を捉え、消息探しを進めて、会報が確実に届く同窓会員を増やしたいと考えています。各期の方々の協力をお願いしたいと思います。

## 5、八雲が丘文庫

現在十分活用されていない「八雲が丘文庫」の再整備を行います。桜修館とのすり合わせを改めて行う必要があります。

## 6、旧制以来の歌の継承と「合唱の会」

伴奏譜の制作により、昔の歌もピアノ伴奏で歌える体制は出来つつありますが、実際に歌うチャンスはあまりありません。また桜修館の現役生徒には、歌の存在そのものが知られていないのが現実です。そこで、二つの事業を考えています。

ひとつは、同窓生による「合唱の会」を定期的で開催し、その成果をもって桜修館の「合唱コンクール」に参加したり、記念祭で合唱イベントを実施する案です。

もう一つは、2010年に同窓会が制作したDVD「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌」のコピーDVDを桜修館の新入生に配布する案です。

## 7、メモリアルルームの整備と資料の整理

A棟1階のメモリアルルームの中を整備し、都大附高のキャビネットを確保するとともに、歴史的資料の整理、保管を行います。

## 8、旧制府立高校創立100周年事業

7年後の2029年は、旧制府立高等学校の創立から100年の年です。旧制府立高から都大附高、桜修館へと続く八雲が丘の100年を、何らかの形で祝いたいと考え、その準備をスタートさせます。

現在「八雲が丘学友会」として連合している3校の同窓会を一本化することも視野に入れます。

## 9、新たな事業の創出

(ご意見、ご提案を！)

以 上